

## 《平成19年6月島根県議会における質問および回答の要旨》

### 質問1. グローバルな視点で見た島根について

#### \* 答弁（知事）

世界全体が今変動期にある中、島根は中国やロシア等に地理的に近く、豊かな自然や固有の歴史文化があり、また誠実で粘り強く優しさを備えた県民性によりつくり上げられた特産品がある。

これらの優れた資源を起こし、さらに磨きをかけ、国内外に積極的に打ち出すことにより、大きな可能性を島根は持っていると考えている。

### 質問2. 石見地域振興及び石見地域振興担当について

#### \* 答弁（知事）

石見地域は中産間地域を多く抱え、産業集積も充分でない。しかし、石見地域の発展は島根全体の発展にとっても欠かせないものであるため、今後高速道路網整備、観光等の振興を進め石見地域全体の振興を図っていく。

また、石見地域振興担当は、石見地域の課題に取り組んでおり、今後も期待される役割を適切に果たしてもらいたい。

### 質問3. 県立島根高等技術校について

#### \* 答弁（商工労働部長）

産業人材の育成を取り巻く環境の変化を踏まえ、地域の産業ニーズに即した技術校での訓練内容を検討し、石見部の統合校として益田市に整備することに変更はない。しかし、スケジュールについては、財政健全化の基本方針とも整合性を図る必要があると考えている。

### 質問4. まちの再生、まちづくりについて

#### \* 答弁（商工労働部長）

平成18年に、中心市街地活性化法および都市計画法が改正され、人口減少社会に対応した誰もが暮らしやすいコンパクトシティを目指し、中心市街地活性化基本計画を策定し国の認可を受けた場合、これらの法に基づく税制の特例や補助事業といった支援を受けられることとなったので、今後中心市街地の活性化に取り組んでいくよう検討を進めている。尚、松江市と出雲市が現在中心市街地活性化基本計画を策定中である。

### 質問5. 石見地域の道路の状況と今後の道路整備について

#### \* 答弁（知事）

自分自身で県内の道路整備の状況を見てきた中で、中山間地域における生活道路整備は依然遅れており、その整備は最重要課題と考えている。

そして必要な道路整備財源の確保、島根の道路の充実のため、自分自身が先頭に立って全力を挙げていく。